



区民の皆さまとともに 改革に取り組み未来を拓きます

(仮称)区政改革計画(素案)にご意見を

「みどりの風吹くまちビジョン」に掲げた政策を実現するための具体的な仕組みや態勢を、「区民の視点」からあらためて検討し見直すため、区政改革に取り組んでいます。今回、(仮称)区政改革計画(素案)がまとまりましたので、あらましを紹介します。今後、区民の皆さまからご意見を伺い、10月をめどに計画を策定します。

▶問合せ:区政改革担当課☎5984-1092



市民感覚で行政を見直します

練馬区で暮らして32年になります。夫婦で日々都心へ通勤し、一人息子は、保育園や学童クラブ、区立学校へ通い、みどりの公園で遊びました。同居した母親二人はデイケアへ、私は森でジョギングや散策を楽しむ。



練馬区長
前川 耀男

便利で、しかもみどり豊かな練馬の魅力を満喫し、多様な行政サービスを楽しみ、感謝しながら暮らしてきました。今では、生まれ育った鹿児島より、練馬に愛着を覚え、我が故郷と実感するようになってきました。

しかし同時に、もっと開かれた区政に出来ないのか、先進的な政策に取り組みめないのか。釈然としない思いも懐いてきました。一人の市民として感じてきた疑問に答えること。これが、区長としての私の原点です。

今回の区政改革もここから出発しました。昨年6月、区民公募で区政改革推進会議を設置しました。私は冒頭「日々の暮らしの実感に添って議論して頂きたい」と申し上げました。市民感覚で行政を見直し、サービスを向上させること、これが改革の目的です。

今回の計画素案は、推進会議の提言を根幹にしています。提言にあったように「区民が区を育てる」のです。皆様の生活実感に基づいた、ご意見、ご提案をお待ちしています。

今なぜ区政改革か

モデルなき未知の時代に挑む

いま区政が直面している変化は、初めて体験すると言っても過言ではないほど激しいものです。日本全体を見ると、人口が減少に転じるとともに、「超超高齢社会」が待ち受けています。

練馬区は、こうしたモデルなき未知の時代にあつて、大きな2つの困難に直面しています。

1つは、少子高齢化の進

展です。財政力の維持が困難になるなか、膨大な医療・介護需要、子育て支援に対応していかなければなりません。加えて、都市計画道路の整備の遅れ、鉄道空白地域の存在など練馬区特有の課題も解決が迫られています。

しかし、練馬区には大きな可能性があります。人口が増え続けている数少ない

自治体です。多くの区民が地域でさまざまな活動を活発に展開しています。都心近くにあつて、豊かなみどりに恵まれた住宅都市です。大江戸線の延伸や都市計画道路の整備によって、地域のポテンシャルを引き出すことができます。

こうした潜在力を花開かせ、後世に誇れるまちを築くためには、今、徹底した区政改革を実行しなければなりません。

将来を見通した改革に挑む

区政改革の目的は、区民サービスを充実し、向上することにあります。

基礎的自治体としての役割を果たすには、公共サー

ビスのあり方を根本から見直し、時代の状況と地域の実態に即したものにしなければなりません。同時に、厳しい財政状況にあつても、

持続可能な仕組みをつくる必要があります。将来を見通した観点から施策の質や方向性を検証し、見直します。さらに区政全般において区民との協働を進めます。

